

ドイツ語中級 水曜 5 限

■ <目的>

高度な文法事項を習得し、読解力や言語運用能力を養成する。

■ <到達目標>

辞書さえあれば、ドイツ語を読むことができるようにする。

ドイツ語文法の初歩の知識を修得する。

■ <講義内容>

ドイツの「白バラ」に関するやや難解な文章を読むことによって、ドイツ語の運用能力を高める。時には、書く練習をしたり、話す練習もするが、基本的にドイツ語の運用のために、まず読むことに集中する。プリントのレベルは高く予習は欠かせないが、理解を深めるため映画なども見る予定である。「白バラ」に関しては解説書もあり、その気になれば予習はしやすいと思う。毎回予習と復習を自分でチェックし、ドイツ語能力の向上を確認する。一年次に勉強したことを手がかりにして、文法知識の確認も行う。

■ <教科書>

プリント

■ 授業内容・後期

10月1日

今日は、席を固定し、自己判断によるドイツ語力と個人的な目標について話してもらい、プリントを配布して、最初の方をみんなで訳してみた。予想以上に、ドイツ語の初歩的な文法をわすれている人がいたため、かなり最初の方から説明した。今後は、文法の大まかなことを勉強しながら、やや難しい文章も読めるようにしていきたい。まずは、白バラについて、調べるといのが宿題のようなものであった。10月と11月で、文法の最初の方からすべて復習していきたい。次回は、「文法」について。「辞書さえあれば、よめるようになる」ことを目標にしていた人が多かったが、辞書が引けるようになるためには、基本的な文法を知らなければならない。

授業のテキスト

10月8日

今日は、まず Inhalt の部分の2段落を訳してみた。やや複雑な構文は、板書して説明したが、動詞の人称変化した形 treffen>trifft や名詞の複数形 Blatt>Blätterあるいは過去分詞系 festgenommen>festgenommen など、文法がわからないと、辞書が引けないので、10月中に、自分がどのくらいわからないか、予習しながら確認し、わからないところがあったら、自分で確認し、それでもわからなかったら質問して欲しい。質問があったら、どんなに初歩的なことであっても説明できることは説明する。また、zu 不定詞の副詞的用法なども説明した。ただし、それぞれの文法も大切だが、副文と主文を見分けることが大切。従属の接続詞にどんなものがあったのか、関係代名詞の先行詞は、どういうものか、復習しておいて欲しい。時間があったら、次回は関係代名詞について説明しておきたい。

10月15日

今日は、予定通り、関係代名詞についてまず説明した。定関係代名詞と定冠詞の対応などがある程度わかると、読みやすくなるが、関係代名詞はそれに加えて、動詞が最後にくるので、その点を理解しておいて欲しい。逆に言えば、動詞が最後に来た時には、関係代名詞か従属の接続詞のどちらかである、ということになる。今日は、ビデオを見ようとしたが、DVDの装置がなかったため見るができなかった。次回は場所を変えてもらうかも知れない。

10月22日

今日は、最初映画を20分ほど見た。次回も、最初からではないが、もう一度少しだけ見ようと思う。また、ドイツ語に関しては、受身、現在完了、その他文の構造について説明した。だんだん、復習と予習を繰り返すことで、ドイツ語力はついていくとおもわれる。次回は、9ページの3のところぐらいまでは進む予定。接続法についての説明も、できればするが、まだそれ以前の問題で説明しておいた方がよいとおもわれるものがいくつかある。

10月29日

今日は、最初に、Inhaltの部分を訳して、予定通り9ページの3のところまで訳してから最後に映画を見た。次回は10ページの10のところぐらいまでは進むとおもわれる。授業中にケータイ・スマートフォンなどでメールを書くのは、言うまでもなくやってはいけないことであると思っている。ケータイ・スマートフォンで連絡しなければならないのであれば、授業中ではなく、別のところでやってもらいたい。私は、ケータイ・スマートフォンでメールを書いている人にもわかるようにドイツ語の授業をすることはできないし、したいとも思わない。

11月5日

今日は、映画を見るができなかったが、予定通り10ページの10まで進んだ。次回は、11ページの19か20まで進みたいと思っている。この映画のあとは、ベルンの奇蹟という、サッカー関係の映画を見ることにしたい。今日のテキストには、たくさんの分離動詞や関係代名詞、そして受身の文章があったが、訳してくれた人は、だいたい間違いなく訳していた。次回もこの調子でやってきて欲しい。

11月12日

今日は、映画を見るため、30分ほど早くに終えて映画を見た。ihrという単語が「あなたたちは」「彼女に」「彼女の」といういくつかの可能性があり、それらを理解するためには文法上の知識が必要である、ということを話した。次回もやや難しいところだが、あと二回で、「白バラ」は読み終えることにしたい。予習して、やりたい人は先にあてるので、手を上げて欲しい。

11月19日

今日も、映画を見るため、30分ほど早くに終えて映画を見た。そして今日も、ihrという単語が「あなたたちは」「彼女に」「彼女の」といういくつかの可能性があり、それらを理解するためには文

法上の知識が必要である、ということ話をした。それでもまだ、ihr が「彼女の」、なのか「君たち」なのかわからないという受講生もいた。次回は最後まで読み、映画も最後まで見る予定。来週の11月26日は同じ教室で授業をするが、その次からは、B206で行なうことにした。多少狭くなるが、受講生もすくなくなってきたので、12月の最初に席替えもする。なお、その次からは、以下のテキストの Inhalt の部分から読んでいく。

その次の授業のテキスト

11月26日

今日は、「白バラ」を最後まで読み、映画も最後まで見ることができた。DVDを忘れていたため、時間のロスがあったが、なんとか時間に間に合ってよかった。感動的な映画である、という感想が多かった。次回は、上のテキストの Inhalt の部分は終わることができるのではないかと思います。ちょっと長いですが、予習してきてほしい。

12月3日

今日は、「ベルンの奇蹟」の Inhalt の部分をだいたい読んだ。出来ている人は、だいたい大丈夫なくらい読めるようになっているが、まだ少し問題を抱えている人もいようだ。今回から、常識とかコンテクストというものをつかって読んで行きたいとおもう。

12月10日

今日は、「ベルンの奇蹟」の最初の1ページを読んで映画を見た。映画は、教会に行ったマティアスを父親のリヒャルトが咎めるところであった。文章は、ほとんど全員がやってきていて、案外スムーズに訳せた。

12月17日

今日は、「ベルンの奇蹟」の2ページ目であった。アディダスの創始者が、アディ・ダスラーである、ということが読んでいてわかった部分。さすがにすべての人が予習をしてきていたわけではなかったが、だいたい読めた。次回で、授業は最後になり、その次にテストをする予定。テストは、「ベルンの奇蹟」全体と「白バラ」の Inhalt から少し出す、ということにした。ちゃんと授業に出てきて、ある程度発表した人は、合格圏に入っていると思うので、テストでそこそこの点数をとって欲しいと思う。映画は、父親がじゃがいもをむきながら、過去の悲しい思い出を語っていたところまでであった。